

令和6年4月5日

各所属長 殿

弘前市陸上競技協会

会長 對馬 拡

( 公印省略 )

第46回 弘前市春季陸上競技選手権大会について  
第40回津軽南地区小学生陸上競技交流大会 [同日開催]

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、標記大会を別紙実施要項のとおり5月18日(土)に弘前市運動公園陸上競技場において開催することになりました。

つきましては、貴管下選手の大会参加について、格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

弘前市陸上競技協会 競技部 大澤 次郎

Mail : jiro@seiai.ed.jp

TEL : 090-1375-2097

---

※ 登録・申し込み方法がニシのNANSシステムに変わります。陸上部顧問が交替する場合は、選手登録・申し込み方法を新顧問へ確実に伝達していただきますよう、よろしく願いいたします。お手数ですが新顧問の連絡先を大澤までお願いします。

---

## 第46回 弘前市春季陸上競技選手権大会 実施要項

### 第40回津軽南地区小学生陸上競技交流大会 [同日開催]

〈主催〉 弘前市陸上競技協会  
〈後援〉 弘前市・弘前市教育委員会・(公財)弘前市スポーツ協会  
(株)陸奥新報社・(株)東奥日報社

- 1 期 日 令和6年5月18日(土)  
開場 6:30 開始式 8:30 競技開始 9:00
- 2 会 場 弘前市運動公園陸上競技場
- 3 種 目  
[中学男子] 100、200、400、800、1500、3000、110H、4×100R、走高跳、走幅跳  
砲丸投(5.0kg)  
[中学女子] 100、200、800、1500、100H、4×100R、走高跳、走幅跳、砲丸投(2.72g)  
[一般高校男子] 100、200、400、800、1500、5000、110H、4×100R、走高跳、走幅跳  
砲丸投(一般7.26kg、高校6.0kg)、円盤投(一般2.0kg、高校1.75kg)  
やり投(0.8kg)  
[一般高校女子] 100、200、400、800、1500、3000、100H、4×100R、走高跳、走幅跳  
砲丸投(4.0kg)、円盤投(1.0kg)、やり投(0.6kg)
- 4 競技規定 2024年度日本陸上競技連盟規則による。
- 5 競技方法 (1)トラック競技は予選を行わず、すべてタイムで順位を決定する。  
(2)フィールド競技(走高跳以外)は、3回の試技で順位を決定する。
- 6 参加資格 (1)青森陸上競技協会に競技者登録をしている。  
(2)弘前市内の中学・高校・大学の所属で登録している。  
(3)弘前市所在のクラブチーム所属で登録している。  
(4)一般競技者は弘前市内に在住している。  
・生徒、学生の登録手続きについては、中体連・高体連・学連の指示に従ってください。  
・一般の登録手続きについては、青森陸上競技協会HPで確認してください。
- 7 参加制限 (1)1人1種目(リレーは除く)参加人数は制限なし  
(2)リレー競技 1校から1チーム(6名以内)
- 8 参加料 (1)1種目 800円 リレー 1000円  
(2)申し込みと同時に所属名(一般は個人名)で振り込むこと。  

みちのく銀行城東支店	口座番号	2019377
青森銀行弘前東支店	口座番号	1360536
名義(共通)		弘前陸協財務部長 山本 昭輝

  
(3)連絡先 財務部 山本昭輝 TEL 090-1939-4457

## 9 申込方法

- (1) NISHI の NANS21V システム URL: <https://nishi-nans21v.com/> でお申込みください。
- (2) 参加種目のベスト記録 (2023 年以降) を入力してください。番組編成に反映されます。
- (3) 申込み後は、「申込一覧表」を出力し下記アドレス (大澤) へメールで送付してください。

(4) 申込期限 **開始 4月13日(土) 0時**

**終了 4月26日(土) 24時**

(27日0時になると、エントリー途中でも締め切られますのでご注意ください。)

- (5) 問い合わせ 弘前市陸上競技協会 競技部 大澤 次郎  
Mail : jiro@seiai.ed.jp TEL : 090-1375-2097

10 表彰 第1位～8位までを表彰する。

## 11 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守して、個人情報を取り扱う。  
なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像、写真、記事、記録等は、主催者が承認した第三者により、大会運営及び宣伝等の目的で大会プログラムやポスター等の宣伝材料、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 引率責任者は生徒のすべての行動に対して、責任を負うものとする。
- (3) 本競技場での練習は 8:25 までとする。また、跳躍競技と砲丸投については競技準備に入る前の時間帯に限り練習できるが、現場には必ずチーム監督者が立ち会い責任を負うものとする。
- (4) 円盤投とやり投の練習は競技開始前に審判員の指示で行う。競技場外での練習は危険防止のため禁止する。
- (5) 競技場は全天候型舗装なので、スパイクのピンは 9mm 以下を使用する。ただし、走高跳とやり投は 12mm 以下とする。
- (6) 競技規則 TR5.2 により、靴底の最大の厚さは 800m 以上のトラック種目と三段跳は 25mm 以下、その他のトラック種目 (リレーを含む) とフィールド種目は 20mm 以下とする。
- (7) 競技用具は競技場に備え付けたものに限る。
- (8) 走幅跳は計測記録を設定して実施する。
- (9) 入退場の際は ID カード (監督用・競技者用) を携帯してください。
- (10) プログラムは参加数により各学校に配付するが、その他は実費で販売する。
- (11) 大会当日は顧問並びに競技者には、審判・補助員で大会運営にご協力いただきますので、よろしく願いいたします。
- (12) 報道ならびに卒業アルバム等に関する業者の撮影については、必ず本部で受付をして撮影禁止区域などを確認してください。ビブスをお渡ししますので、競技場内では必ず着用するようにお願いします。

※ 前日までの場所取りは禁止します。(運動公園使用料が発生します)